

ルーラン錠 4mg ルーラン錠 8mg ルーラン錠 16mg

【この薬は？】

販売名	ルーラン錠 4mg Lullan Tablets 4mg	ルーラン錠 8mg Lullan Tablets 8mg	ルーラン錠 16mg Lullan Tablets 16mg
一般名	ペロスピロン塩酸塩水和物 Perospirone Hydrochloride Hydrate		
含有量 (1錠中)	ペロスピロン塩酸塩 として 4mg (ペロスピロン塩酸塩 水和物 4.31mg)	ペロスピロン塩酸塩 として 8mg (ペロスピロン塩酸塩 水和物 8.62mg)	ペロスピロン塩酸塩 として 16mg (ペロスピロン塩酸塩 水和物 17.24mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質の受容体に作用してそのバランスを整えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

統合失調症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要

です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 高血糖や糖尿病の悪化により、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡状態（激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、深く大きい呼吸、判断力の低下）などの重篤な状態になる可能性があるため、血糖値等を測定される場合があります。
- 患者や家族の方は、高血糖（激しいのどの渇き、水やジュースをたくさん飲む、尿の量が多い、尿の回数が多い）があらわれることがあることを十分に理解できるまで説明を受けてください。これらの症状があらわれたらこの薬を飲むのをやめて、ただちに受診してください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・昏睡の状態にある人
 - ・バルビツール酸誘導体などの中枢神経抑制剤の強い影響下にある人
 - ・過去にルーランに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・アドレナリンを使用している人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・高齢の人
 - ・心臓や血管の病気の人、低血圧の人、またはこれらが疑われている人
 - ・パーキンソン病の人
 - ・てんかんなどのけいれんをおこす疾患を有する人、または今までにおこしたことがある人
 - ・小児
 - ・過去に薬剤で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・脱水の人や栄養状態の悪い人
 - ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人
 - ・糖尿病の人または過去に糖尿病になったことがある人、血縁に糖尿病の人がいる人、高血糖の人、肥満の人など糖尿病になりやすい人
- この薬には併用してはいけない薬[アドレナリン（ボスミン）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名		ルーラン錠 4mg	ルーラン錠 8mg	ルーラン錠 16mg
一日量	開始量	12mg		
	維持量	12mg～48mg		
	最大量	48mg		
飲む回数		1日3回 食後に飲みます。		

●**どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を飲み始めた後に悪性症候群（高熱、意識がうすれる、筋肉のこわばりなど）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- ・眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・飲み始めて症状が悪化したら、医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬は食後に飲んでください。空腹時に飲むと効果が弱くなります。
- ・高血糖や糖尿病の悪化により、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡などがあらわれることがありますので、特に高血糖、肥満などの患者さんでは注意してください。高血糖があらわれることがあるため、これらの症状があらわれたら、薬を飲むのをやめて、ただちに受診してください。
- ・抗精神病薬を飲んでいる人には、肺塞栓症（突然の息切れ）、静脈血栓症（下肢のむくみ・痛み）などが報告されています。長時間動かないでじっとしている人、長期間病床にある人、肥満の人、脱水状態の人は特にこれらの症状に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。




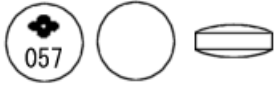




重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 (Syndrome malin) あくせいしょうこうぐん (サンドローム マラン)	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、意志に反して体が動く
麻痺性イレウス まひせいイレウス	吐き気、嘔吐（おうと）、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、便がでない
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん (エスアイエーディーエイチ)	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐、食欲不振
痙攣 けいれん	けいれん
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
無顆粒球症 むかりゆうきゆうしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少 はっけつきゆうげんしょう	発熱、のどの痛み
高血糖 こうけつとう	からだがだるい、脱力感
糖尿病性ケトアシドーシス とうにょうびょうせいケトアシドーシス	意識の低下、考えがまとまらない、深く大きい呼吸、手足のふるえ、判断力の低下
糖尿病性昏睡 とうにょうびょうせいこんすい	激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、意識がなくなる
肺塞栓症 はいそくせんしょう	汗をかく、発熱、意識の低下、咳、胸の痛み、息苦しい
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくけっせ	発熱、皮膚や唇、手足の爪が青紫色～暗紫色になる、

んしょう	はれ、下肢のむくみ
------	-----------

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、からだのだるい、けいれん、ふるえ、脱力感、発熱、意志に反して体が動く、汗をかく
頭部	意識がうすれる、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、判断力の低下
口や喉	飲み込みにくい、激しいのどの渴き、意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、吐き気、嘔吐、のどの痛み、唇が青紫色～暗紫色になる、咳
胸部	深く大きい呼吸、吐き気、胸の痛み、息苦しい
腹部	激しい腹痛、食欲不振、吐き気、腹がはる、腹痛
手・足	手足のふるえ、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、手足の爪が青紫色～暗紫色になる、はれ、下肢のむくみ
皮膚	はれ、皮膚が青紫色～暗紫色になる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み
便	下痢、便がでない
尿	尿が赤褐色になる
その他	意識がなくなる、判断力が低下する

【この薬の形は？】

販売名	ルーラン錠 4mg	ルーラン錠 8mg	ルーラン錠 16mg
PTP シート			
形状	フィルムコート錠 	フィルムコート錠 (割線入り) 	フィルムコート錠 (割線入り) 
直径	7.1mm	7.1mm	長径 13.1mm 短径 5.6mm
厚さ	3.0mm	3.0mm	4.0mm
重さ	123mg	123mg	245mg
色	白色～帯黄白色	淡黄色	白色～帯黄白色
識別コード	 057	 058	DS059

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ルーラン錠 4mg	ルーラン錠 8mg	ルーラン錠 16mg
有効成分	ペロスピロン塩酸塩		
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、カルメロースカルシウム、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、ステアリン酸マグネシウム、ヒプ	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、カルメロースカルシウム、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、ステアリン酸マグネシウム、ヒプ	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、カルメロースカルシウム、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、ステアリン酸マグネシウム、ヒプ

	ロメロース、濃グリセリン、シリコーン樹脂、ショ糖脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、トウモロコシ油、酸化チタン、カルナウバロウ	ロメロース、濃グリセリン、シリコーン樹脂、ショ糖脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、トウモロコシ油、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ	ロメロース、濃グリセリン、酸化チタン、カルナウバロウ
--	---	---	----------------------------

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大日本住友製薬株式会社

(<http://www.ds-pharma.co.jp/>)

くすり情報センター

電話：0120-885-736

受付時間：9時～18時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)